

---

# 人間は嫌いだ

とーや

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

人間は嫌いだ

### 【Nコード】

N2783B

### 【作者名】

とーや

### 【あらすじ】

人間に捨てられて、信じることができなくなった猫の話。

「にゃー」

ため息混じりにひと声鳴いて、いつもの場所へと向かう。

今夜も繁華街の路地裏で残飯あさりだ。

俺だって、好きでこんな無様な真似をしているわけじゃない。生きていくためには仕方のないことなんだ。

今でこそ汚い身なりをしているが、昔は可愛い可愛いと随分もてはやされたものだ。それなりの血統でもあるんだぞ。

人間に捨てられる、その日までは。

ある日、突然のことだった。

まるで飽きて要らなくなった人形のように、ゴミを袋にまとめて捨てに行くかのように。

あっさりと、俺は捨てられた。

あんなに可愛がってくれていたのに。

あんなに懐いていたのに。信じていたというのに……。

石をぶつけられた額の傷が疼くたびに、人間に憎しみを抱いた。

車に轢かれたちぎれた尻尾を見るたびに、人間に憎しみを抱いた。

汚いものでも見るかのような、悪意に満ちた視線を向けられるたびに、人間に憎しみを抱いた。

人間は嫌いだ。

目的地についた。早々に空腹を満たすため残飯をあさりにかかる。

この店は上質な食材を使っている、残り物とはいえ味は悪くない。苦勞して何軒もの店をさまよい歩いた成果だった。

ふいに裏口のドアが開いた。と同時に、凄まじい怒声が響いてきた。

「いつもゴミ置き場を荒らしていたのはおまえか！」

不覚にも、食事に夢中になっていて反応が遅れてしまった。

振り下ろされたモップの先端がわき腹を直撃する。声にならない悲鳴とともに、激しい痛みが全身を襲った。

「人間様に迷惑をかけやがって。この薄汚い、泥棒猫めが！」

幾度となく狂気に満ちた刃が振り下ろされ、意識が朦朧としてきた。

人間様だあ……。俺には醜い豚にしか見えねえよ……。

「大丈夫？ 死んでるの？」

混濁した意識の中で、人間の少女らしきものが手を差し伸べているだけは理解できた。

必死な思いで起き上がり、相手を睨みつけるように座り込んだ。

全身がズキズキと痛みやがる。

「あ、よかった」

少女はほっとしたような微笑みを浮かべた。

その微笑みが、心の片隅に残っていた、幸せだった頃の思い出と重なった。

胸のあたりに刺すような痛みが走る。

くそ、もう騙されない。人間には騙されない。

忌まわしい過去を振り払うように、差し出されていた手のひらに思いきり噛みついた。

牙がくいこみ、肉が裂け、血がにじんだ。

どうだといわんばかりに、憎しみの形相で少女の顔を見る。

「君も、人を信じられないんだ……。わたしと一緒だね」

少女は、かすかに顔を歪めながら微笑んでいた。

人間なのに、人間が信じられない？

一瞬、心が揺らいだ。動揺で牙がゆるみ、離れていく手首に目がつまった。

無数の傷跡。

飼われていた頃にワイドショーで見たことがある      リストカット。

「もしよかったら、わたしと一緒にいてくれないかな」

俺は半ば呆然と少女を見つめていた。

「孤独ひとりでいると、壊れてしまいそうなんだ」

勘違いしないでほしい。

少女に抱かれながら歩いているのは、決して人間を許したからではない。

ましてや、過酷な野良猫生活から逃げだしたかったわけでもない。しいていうなら、気まぐれ。そう、気まぐれだ。

猫の気持ちがわかる諸君なら、理解してもらえらるだろう。

もう一度だけいっておく。人間は嫌いだ。

くろくろ。

(後書き)

あとがき

読んでくださりありがとうございます。

オリジナル小説は初めての投稿です。

文章はもちろん、タイトルとあらずじ、改行にも悩みました。やはり書くのは難しいですね(^^)；

最初は救いのない話にするつもりだったんですが、猫好きということもあり、バッドエンドにはできませんでした。結果として、自分でもよくわからない話に…( - - - ;  
イメージとしては、小さな小さなハッピーエンドという感じです。

頭の中のイメージを文章にできたら、また投稿したいと思います。

(今度はちゃんとしたショートショートを書いてみたい…)

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2783b/>

---

人間は嫌いだ

2010年10月28日08時33分発行